



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月5日

上場会社名 サイバーコム株式会社 上場取引所 大
コード番号 3852 URL <http://www.cy-com.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 剛喜
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 中山 直人 (TEL) (045) 312-3271 (代表)
四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,477	9.2	176	37.8	182	22.7	88	3.0
24年3月期第2四半期	3,184	12.1	128	—	148	29.5	85	30.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	44.09	—
24年3月期第2四半期	42.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,935	2,944	59.7
24年3月期	4,866	2,904	59.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,944百万円 24年3月期 2,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,890	6.3	348	51.1	374	39.8	220	145.1	109.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	2,005,400株	24年3月期	2,005,400株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	73株	24年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	2,005,350株	24年3月期2Q	2,005,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第2四半期累計期間】	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として回復基調にあるものの、欧州諸国における財政金融問題の深刻化に伴う世界経済の減速、円高の長期化等により先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当業界においては、IT投資需要は堅調に推移しており、スマートフォンやタブレット端末の市場規模の拡大に加え、クラウド・コンピューティングの進展による新たな利活用に向けたソフトウェア開発の需要が見込まれている一方、開発の短納期化や低コスト化による影響が懸念される状況となっております。

このような状況下、当社は業界のニーズに対応すべく今後の進展が見込まれる分野への案件獲得に注力すると共に、リピートオーダーの確保や新規顧客の開拓に加え一括受託作業の拡大に向け、積極的な受注活動を推し進めてまいりました。特に一括受託作業においては、W字モデルの開発手法を取り入れた「当社標準開発モデル」の導入やソフトウェアの構造分析を行う「リバースエンジニアリングサービス」の活用等により品質の向上を図り、さらにOSSの活用や部品化等による生産性向上への取組みも行ってまいりました。また、SIサービス（構築・保守・運用サービス）や「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクト等の販売強化に努めると共に、今後の顧客ニーズを見据えた新サービスの立ち上げも行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高34億77百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益1億76百万円（前年同期比37.8%増）、経常利益1億82百万円（前年同期比22.7%増）、四半期純利益88百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

当第2四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高27億33百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益3億66百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

内訳として、通信ソフトウェア開発は、データトラフィック増加に伴うネットワーク負荷軽減への対応案件、OpenFlow技術を活用したルータやコアネットワークの開発等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、複合機やプリンター、車載系の開発案件等を中心を受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築案件に加え電子カルテやERPの開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高7億43百万円（前年同期比123.6%増）、営業利益86百万円（前年同期比160.1%増）となりました。クラウド化の潮流やBCP（事業継続計画）対策の需要が拡大するなか、SIサービス（構築・保守・運用サービス）において、戦略的な組織体制強化による効率化に努め、受注を拡大いたしました。さらに、「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクト等の販売を拡大いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べて68百万円増加（1.4%増）し49億35百万円となりました。その内訳は、流動資産が85百万円増加（2.1%増）し41億48百万円となり、固定資産が16百万円減少（2.1%減）し7億87百万円となったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて28百万円増加（1.4%増）し19億90百万円となりました。その内訳は、流動負債が14百万円減少（1.4%減）し9億64百万円となり、固定負債が42百万円増加（4.3%増）し10億25百万円となったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて40百万円増加(1.4%増)し29億44百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて2億45百万円減少(18.7%減)し10億67百万円となりました。

営業活動により獲得した資金は、1億8百万円(前年同期比60.9%減)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が1億82百万円、売上債権の増加92百万円、退職給付引当金の増加42百万円、賞与引当金の減少41百万円によるものであります。

投資活動により支出した資金は、3億6百万円(前年同期比70.0%減)となりました。これは主に、グループバンク制度への短期貸付によるものであります。

財務活動により支出した資金は、47百万円と、前年同期と比べて同水準となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月8日発表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、10月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313,354	1,067,503
受取手形及び売掛金	1,385,105	1,477,134
商品	848	—
仕掛品	101,398	82,304
短期貸付金	1,000,515	1,300,135
その他	261,538	220,941
流動資産合計	4,062,760	4,148,018
固定資産		
有形固定資産	253,261	256,091
無形固定資産	66,340	53,308
投資その他の資産	484,232	477,682
固定資産合計	803,834	787,082
資産合計	4,866,594	4,935,101
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,609	154,711
未払費用	180,847	173,246
未払法人税等	54,658	94,990
賞与引当金	432,994	391,639
役員賞与引当金	20,120	7,891
工事損失引当金	288	247
その他	159,998	141,769
流動負債合計	978,515	964,496
固定負債		
退職給付引当金	958,430	1,000,737
役員退職慰労引当金	24,950	24,931
固定負債合計	983,380	1,025,669
負債合計	1,961,896	1,990,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	399,562	399,562
資本剰余金	307,562	307,562
利益剰余金	2,197,572	2,237,869
自己株式	—	△58
株主資本合計	2,904,697	2,944,935
純資産合計	2,904,697	2,944,935
負債純資産合計	4,866,594	4,935,101

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	3,184,213	3,477,319
売上原価	2,553,199	2,783,802
売上総利益	631,014	693,517
販売費及び一般管理費	502,830	516,905
営業利益	128,183	176,611
営業外収益		
受取利息	4,463	4,032
雑収入	670	906
その他	15,231	736
営業外収益合計	20,365	5,676
経常利益	148,549	182,288
特別損失		
固定資産除却損	58	187
特別損失合計	58	187
税引前四半期純利益	148,490	182,100
法人税、住民税及び事業税	91,567	86,628
法人税等調整額	△28,924	7,046
法人税等合計	62,643	93,674
四半期純利益	85,847	88,425

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	148,490	182,100
減価償却費	14,308	16,854
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50,539	△41,355
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,752	△12,228
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	47,647	42,307
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,193	△19
受取利息	△4,463	△4,032
有形固定資産除却損	58	187
売上債権の増減額 (△は増加)	264,598	△92,028
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,801	19,942
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,143	25,102
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△40
その他	△4,925	14,783
小計	471,867	151,572
利息の受取額	4,463	4,032
法人税等の支払額	△198,251	△46,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	278,078	108,683
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,262	△10,975
無形固定資産の取得による支出	△20,224	△2,600
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△1,000,625	△299,620
その他	1,080	6,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,022,031	△306,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△47,687	△47,607
自己株式の取得による支出	—	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,687	△47,665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△791,639	△245,850
現金及び現金同等物の期首残高	2,035,902	1,313,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,244,263	1,067,503

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項はありません。